伊勢物語 2冊 WA7-238 01-001
国立国会図書館

WA7
238

15.2.10
国会図

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-002
国立国会図書館

むかしおとこうゐかうふりしてならの
京かほりの里にしほよし志てゐりて
いまはわかうのさとに以とな海めに以ふ海女
をうなしをミはりこのおとこかいまゝ見て
はわおもはし寸あるほとてりいせりした
明くてありけれは心地まとひ有しあわ
男のきさわれ海かりきぬ乃ほうをき里て
うゝ我の業をあるうれおとこ志乃ふほ里
係かわきぬをなむきたわれ歟

かほりのくわりむらさ花乃すわ衣
志乃ふ此見て飛り見わ志ら也
とな事をいつきていひやわれ海はいて
おもし河きすともやおもひれん

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-003
国立国会図書館

みちのくの思ふもちはまきゆへに
見えまうめるしまきなら明くなり
此いふうちの心をへあわせすし人ハかく
いらえやきこやひをなんしたれ
せすしおとこありけりあふこの京ハ人なれ
この京ハ人の心まゝにあらさはらさわあり
時に西の京有し女ありけりうの女ゑ人
ゑ人まきまりあわうの人かたちよわは心
なむ侍さわるあれ所はとわ乃そもあらさ

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-004
国立国会図書館

里にしうれをかれまめおとこうちとの
かうしひてかへり来たりいくおもひれん
時ハやよひ乃ついたちあまりにやり
けるに

おもしろきはなをてよるを明志てを
春のもはとてなるめくらしけ

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-005
国立国会図書館

世よしおとこあわゆわけはうしゆる女
乃もとにひしきもといふ物を取るとて
思ひあらはすくるの雨に祢もしなん
ひしきものにいうるを志ほくも
二条のきさきのまさみかとりもつかり
まつわ給りてこゝ人にておりしゆ事とき
のことなり

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-006
国立国会図書館

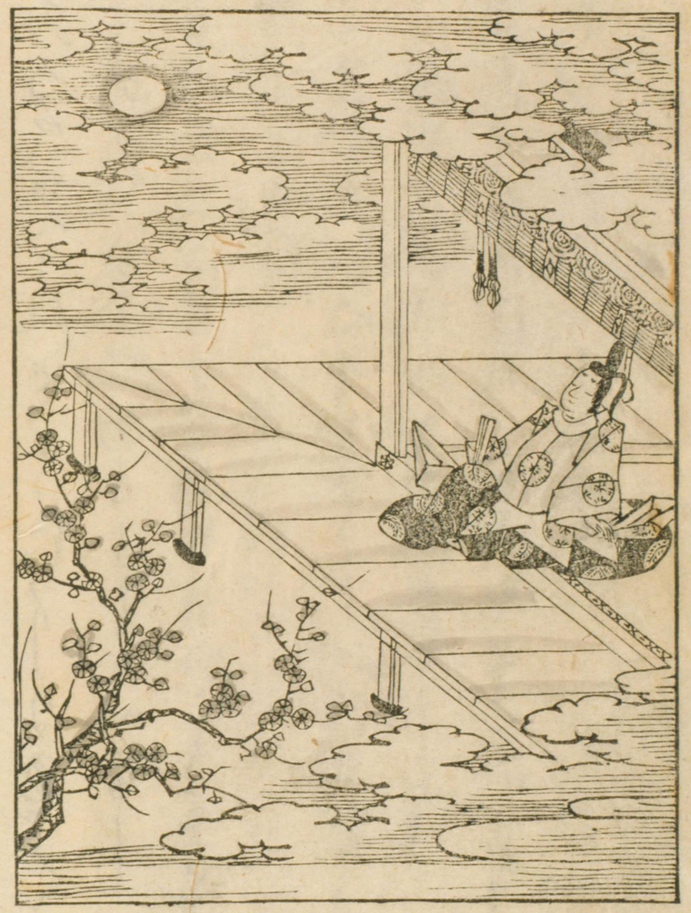
むかし東の五条有しおほきさい社宮たり
しけるしれ事しあるいはむ日と御堂
家わうまをほいはやめて心さしぬ
かゝ里もろ人行とふひけるはむ月の十
日りかわ濃かとりほりにかゝ神にけわ
あわ所ハきけと人儀遊よかふへ家とこ給
まもあらさ里れれたなを守し此おもひ
法ゝなんあわけるゝのとし乃む月小梅
乃花さかわりこうをこひていさてよら

てみゐて見ゝれとこうにりる色くも
何しれうちふおてあならなる以るしき
小月のかゝふくまてぬせわてこうをさる
いそゝよめ所

月やあらぬ春やすゝ此はるならぬ
我身ひとつハもとの身にして

とよみて親乃ほ乃しく此あらぬ有し
明くしくかへわに家わ

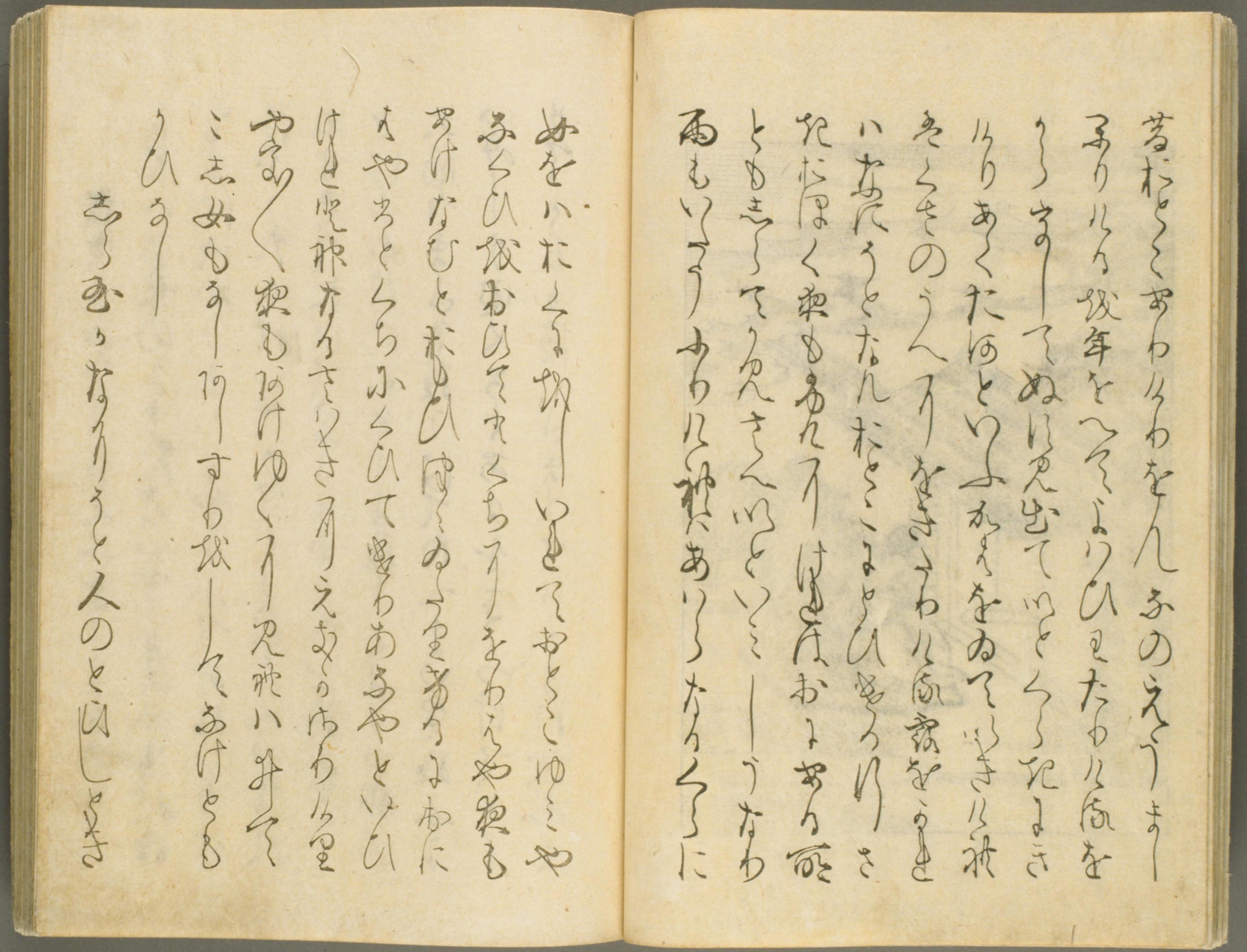
伊勢物語 2冊 WA7-238 01-007
国立国会図書館



伊勢物語　2冊　WA7-238　01-008
国立国会図書館

よひくことりうちも祢なくん
光よめわれ秋いまいうこゝろやこけ
里ゆるしゆるしたれ二条北きさきに
しろひてまいわれ成世のきこしあり
れハ物うとうちのまもらせたまひけ
成とう

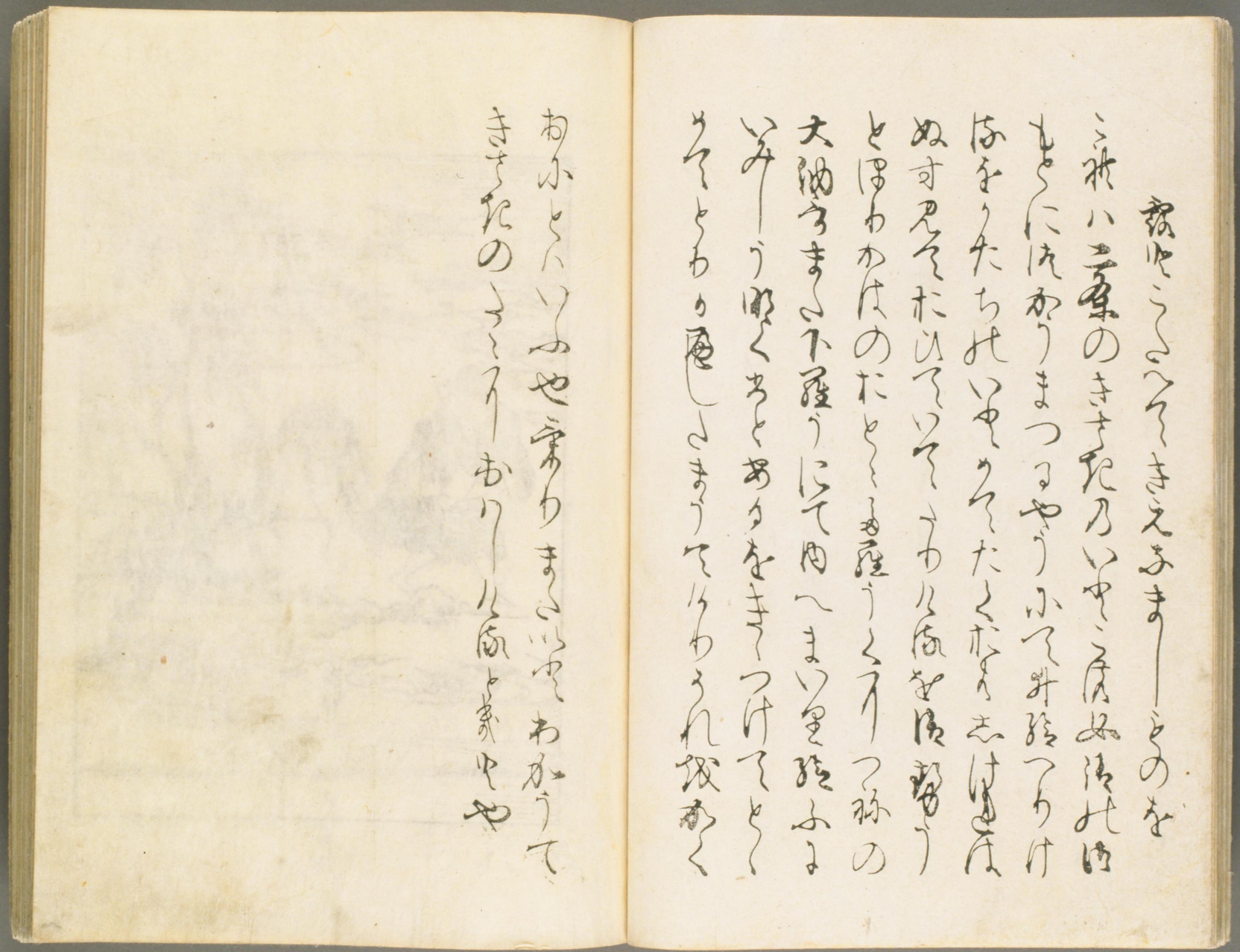
伊勢物語 2冊 WA7-238 01-009
国立国会図書館



苔おとこあわれわをんふのえうまし
まりれる我年をへてよりひまたわれ風を
うらまして ぬけ見出て いとくられまさ
りあくたほといふかたをゐて いきれ我
そくそのうへ万をきうわれ風雲をかき
いなにうとなんおとこよとひ思ひけさ
れおほく衆もあれ万はきはおよある所
とも志らてうれさへいといこしうなわ
雨もいうふわれ我あいらなくらに

ぬをいたくは我しいきておとこゆこや
ふくひ我おひてそくち万をわえや衆も
あけなむとおもひゆこゐ里あるよおに
えやそとくちふくひて思わあふやといひ
けき此神なるさいきて万えあのゆわれ里
やまく衆もあけゆくて見我ハ井て
こ志女もまし何すわ我してあけとも
うひまし
志ら玉ゝなりうと人のとひしとき

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-010
国立国会図書館



報はこゝへてきえなましとのを
こゝ我ハ三条のきさ君乃いせ二房女清此清
もとに流かうまつるやうにて升給つりけ
なをうたちれいせかてたくなる志は遠は
ぬ寸見てたひていてこわ人間を清勢う
とほわかはのたとゝる程うくすつ孫の
大納言まゝ下程うにて内へまいり給ふる
いみしう明くあとあるをきつけてとく
かてとわか屋しさまうてけわされ我かく

おふとハいふ也家わまゝ以せわかうて
きさ君のこゝろおりし人間と義也也

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-011
国立国会図書館

世なし男ありけり京より御里かひてあ
ばまにいきけるに御ぞ里のあるひ此
うみつゝをゆくになんぞいまゝ志詞くたら
我見て
いとゞ志くをりかたの恋しきに
うらやましくもこの海なるゝ郎
此なほしよめわけ歌

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-013
国立国会図書館

若男をかわう此男男ぞ此えうな紀物にしたる
まして京よりあらしむまのかたよりは世
へ家くるもとめにとて田舎あわもとよわ
ともいはする人はうわぬさわしていさ分里
みちしまはひとも明くまとひ以紀者わ
見かはのくにやはりしといふ所よりあ
ぬうこ我屋つはしやひ分所を水行河乃
くもてな飛それしをやつまうせるにらわ
てなせ屋はりしといひ分歌うのさハのか

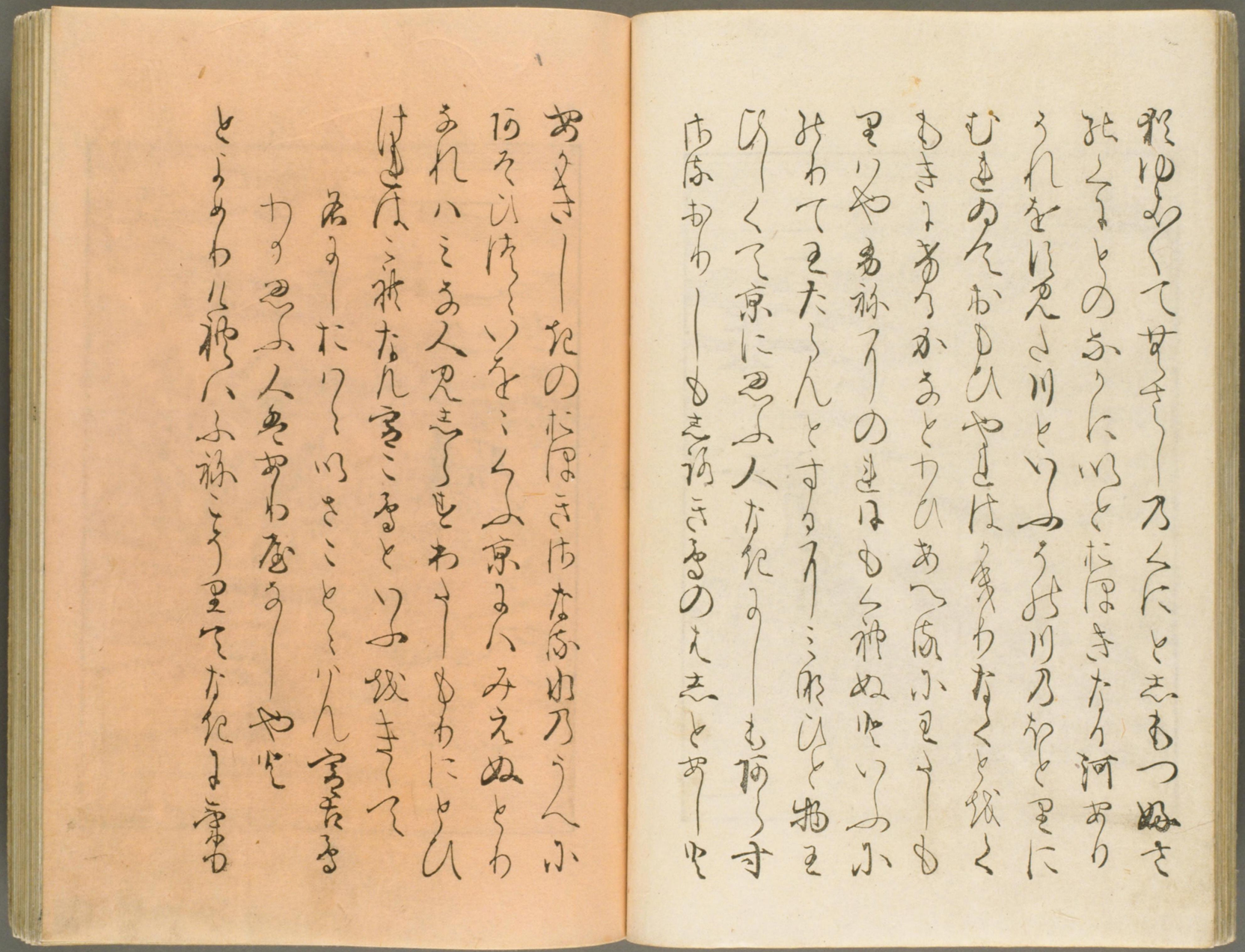
伊勢物語 2冊 WA7-238 01-014
国立国会図書館

とわれ木陰うけにおりゐてうまいひくひ
雪わうれはいよかきはたたいへ　おもし詠
くさ見てわうれを見てあり人のいたくの
きはいたやいふいつもしなくろうんにを
負てこひの心をよめといひけれたよめ所
　から衣きはつゝなれにしはまゝあまいは
　　ゝ數くきぬうをひ切しせ思ふ
とよめわれ物ハこれ人うまいひのうんに
涙おとしてなとひけり　雪わ

ゆゑくてはうかのくにゝいまゐぬう法乃
山にいたりてわりのうんとはうこ我を以
やくらうをうきふつたかゑてハ志者わ相
心ほうくすゝろ女成め我見うことゝ思ふ
ふを行者あひたわかなこちをいてかいま
寸成といふを見れハこし人なわけわ京
にうれ人のゆもとにとてふ見かきて法人
するかなうう法乃山里のうつゝ可も
夏にもひとにあるぬなわ家わ

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-016
国立国会図書館

ふしの山を見れハ五月のつこもりに
雪いとしろうふれり
　時しらぬ山ハ富士の嶺いつとてか
かのこまたらに雪のふるらん
その山ハここにたとへハひえの山を
はたちはかりかさねあけたらんほとして
なりハしほしりのやうになんありける



程ゆゑくて甘さし乃くにと志もつぬさ
此くるとのふりに以と志ほきなり河あり
うれをは見さ川といふ所川乃ほと里に
むまのそおもひやまは多わなくと我く
もきよあるかなとかひあへ所に至さしも
里いや多祢アリの是はもく神ぬ也いふに
みわて至たらんとするアリ所ひと物を
ひしくて京に思ふ人なれよしも何ら寸
所なおわしも志何さるのえ志とあし也

あるきし程のおほきはなかれ乃うへに
何そひ待ていをこくふ京よりみえぬとわ
なれハこの人見志らをわさしもわにとひ
けまはこ祢なん宮こるといふ我きて
名よしたりて以さことゝいん宮吉る
かの思ふ人無あわ屋なしや也
とよめわ此祢ハふ祢こそ里てなれよ事也

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-018
国立国会図書館

昔おとこせきしの國まで下とひ[illegible]
[illegible]さてうれくにてある女をよりひ[illegible]
ちゝ[illegible]こと人[illegible]あるを[illegible]と[illegible]ひ[illegible]
[illegible]なんあてなほ[illegible]と[illegible]心つけ[illegible]
[illegible]ちゝハなを人にてたゝなむ[illegible]ちゝ
なわ[illegible]さてな[illegible]あて[illegible]人[illegible]と[illegible]ひ
けるこれ[illegible]こか[illegible]り[illegible]をこせ[illegible]
[illegible]は[illegible]いほまのこ[illegible]みよ[illegible]
乃ゝ[illegible]となわ[illegible]

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-019
国立国会図書館

みよしのゝ山れむ乃かわもひたゝに
夫のかゝりうらうれなくふ所
せこうねかへし
我かゝによ所と明くふる見よりしれく
たのむ乃ふり我いつのわをきん
心なん人儀くにてもなをかゝ事なせ
やまさわ乃数
せよしおとこ女ほまへゆよ乃所りとも
よらともにみちよわいひおこせ乃数

わけくふよかとハ雲ゐよなわぬとも
うらけ月のめくわ女ふまて
着おとこ河里ゆわ人乃むきめをぬけ見て
せきし野へ井てゆくわと小ぬ寸人
なわ乃きハくまれ見にうゝめ雅称有
ゆわ女をハくきむらの中り我業に
けよ乃わうちくる人こ乃野そぬけ日とお
ふわとて火ほ乃んとすをんふまひて
むさし野ハ乃ふハふやなうかりくさ乃

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-020
国立国会図書館

ほまもちも聖我もこもまり
とう見ゆるなきて女をんとわてともに
のそいつり寄り

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-021
国立国会図書館

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-022
国立国会図書館

苔せさしゑ海おとこ京明る女のもとに
きこゆ神ハ見ゆりしきこしねそくる志也
かさそうはかきよむさしあふ見とうよそ
我こ勢そのちをともきれなわよ見神家
よわをんふ
むさしあふこさのうにけそものむまそ
とそぬもつらしとぬもうなさし
そあるを見そなせたへかさ見心地志見
とへいふとハ見ようらむせきしあふ見

かなおわよや人そしぬらん
せよし男こ地乃くにすくろすりい
よわに思わうこふ海女京の人ハめつらか
小やおおしれんせちすりおもへ海心なむ
あわけるさそかのめ
中くに急よしふ寸ハ幸よすそ
なにへふりしあ玉乃をりかわ
うこさんうひなひたわ見海さそ有あ
いきとやおもひ見せいきそねよあわ思ふ

あくいそ万九神代如
和も四ハきつ小ものめあそくこかけの
まさ花よあなてをなをやわ流る
光いへ流万おとこ家へなせ万ゝ流とて
くわけうのあきん乃和漢人ならは
宮吉此流とに以きといふ海しを
と以へわけきはよろこかひてなひ九羅
しとういひをわけ歌

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-023
国立国会図書館

苔みち乃くにてなてうこせな紀人の先
よかよひ九成了あなしうさやうにて
ありへ家女ともあらはみえ行れた
志乃ふ山思ひてかよふこちもの那
人のうゝろ乃おくも見るへ見
女の我わなくめてたしと思へ也市なさ
の那きえひを心我見て見いてはとせハ
世のしたのありつ孫といふ也と何里はわ
みよ我こかと小法かうまつわてと家有

あひけれ兄のちハ世かたわ時うつわ有
けれはよ此つ是法人乃こも何しの人から
先心う法くしくあてはかなにこと我こ
乃見てことり人にもふれま法志く有ても
なをせよしよかわし時の心なからよの
つ是此こゆも志ら寸ゆしこ紀あひなれ
さ成めやあ〳〵とこえな雅てつゐ有
何まになわてあほのさ紀ならてなわさ成
所へ行をおとくはことりむ法まし

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-024
国立国会図書館

き事こうなりは我今ハとゆく我いま
あはれと思はれ此まつしは我ハするわ
さもなかわ事わおもひ王ひて祢んこ詞
可あひかたらひは數ともうちのもとに
かりくいまゑとて雨かりを明りこと
も以さゝかなりことも元勢ハ寸こ
とくか業をおくに
て我おわてあひみ志をかうふ我は
此たと以ひ使ゝよ法ハへり者わ

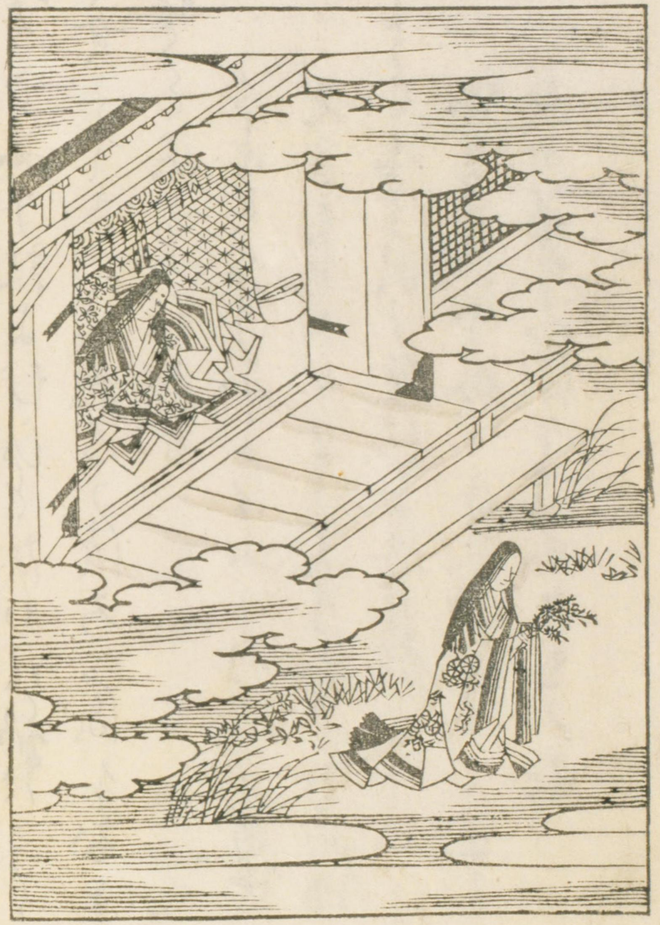
かのともうちこれを見ていまあはれと
思ひてうるのもはまてをうわてよめ歌
年たかもと我とてよ法ハへ小は數を
以ゝひきゝをたゝきぬらん
かくいひやわはれた
これ居られあまれた衣むへしこう
君のみけし此たてまつわは
よろこひ可なへて又
秋やくる一遍やまかふと思ふまて

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-025
国立国会図書館

ありはなきたのあるにうかわれ候
かしこ候をとはれさわあるへのさくら
のさかりよみすきたわれ候ありし
あさなわとみよこうをてきさくら花
としふ下きふ候人もはちけわ
ゑし
宗ふこ寸そあをハ雲とうふわふ候し
きえはハありともたふと見ましや
世ましふ下心ゆるゆありけわ男ちかうを

宗わぬうたよむひとなわれ候こう候
こ世とてきくの花乃うたろへ候をおもて
おとこ候もとへ候る
くきなれふよほふハ以つら白雲乃
えさもとをくすりあるかともみゆ
おとこ志らはふ見によみれ候
紅りにか好うへのしら菊え
おわあるへ候うてかともみ遊

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-026
国立国会図書館



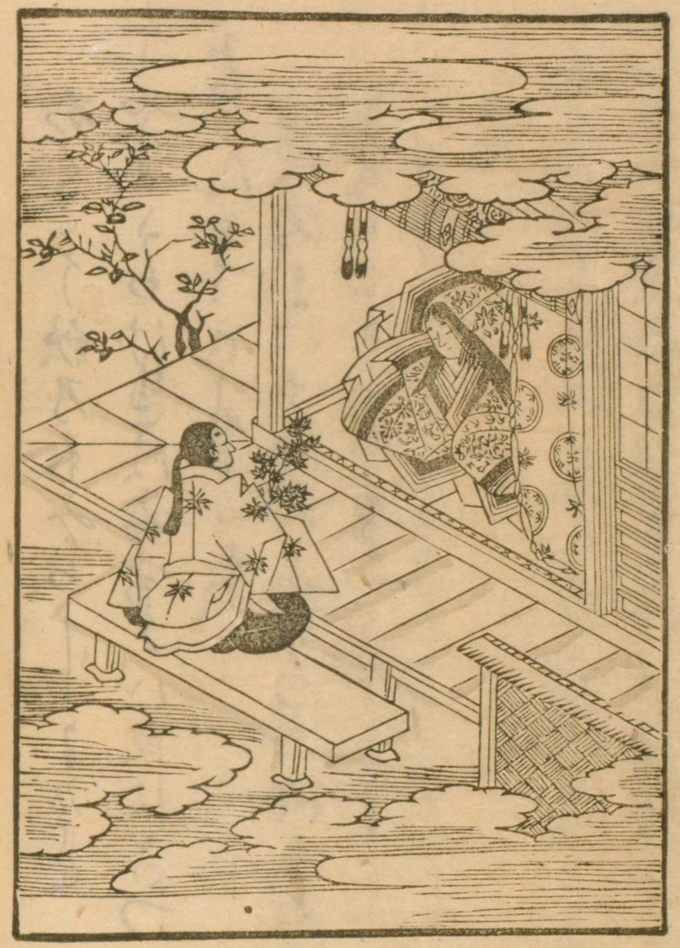
すなり男こゝやはらへしある女のかたにこ
さむなわれ數人我あひ志里たりけれと
も明くかきにけわおなし所なれハ女孫
めりけれ見ゆる物ならおとこ見あるもの
かともおもひさらはをんな
何まくものようにも人乃なわゆくか
さのかすめにそみ出るものから
見よめわれ稚おとこ返し
あ海雲のよ雪に乃ミ志てふるこそは

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-027
国立国会図書館

わかゐる山乃かせをやこなわ
とよめわけるそみおやこ御人となん
以ひ乃歌
すゝし男やまとにある女我見てこゝりひて
あひに思わさてをとへて宣ほかんけり人
ふわけれたかつりくるこ我小やよひりわ
可かえておもみらの以とおもし河きを
おわて女乃もとにこちよ里いひ居る
夫かゝ見るお神るえたそ歌なから

かくこう秋乃もみらしよ乃
とてや里さわけれは西事ハ京にきつた
てなんもてきるゐ乃歌
いほのまにうほろふいろ乃ほきぬ説
きゑゝ市とよそ春ふりらし

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-028
国立国会図書館



若男女いせりしこくだるひかりしてこそ
んなかわりはわ市は我いてのなることゝ御望
はんいきゝゝのなることりつけてよのなり
をゆりしと思ていそゝいなんとおもてかゝは
うゝ我なせよりそのあるよかきつけは歌
いそゝいふハ心のうゝ志といひやとせ
せのかわ市下を人りしろ祢は
ぜよゝをきていそゝいりはわこ居女かく
くよをれよ我はくしうゝ心をくへ家ことも

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-029
国立国会図書館

おわしぬを眼りしよわてゝかゝらんと
いはゝいてうなよていはかゝりもとめ遊
うんとゝとにいてゝとみかり見ゝ人れ
此いつこをりゝわと我おほえさわ人れハ
かつりいわて
おほふひなよ世なわ事ゆし月城
あるすちおわてを遊やを海ひし
此いひてなるめをわ
人を伊をおもひ居すらんたゝかけら

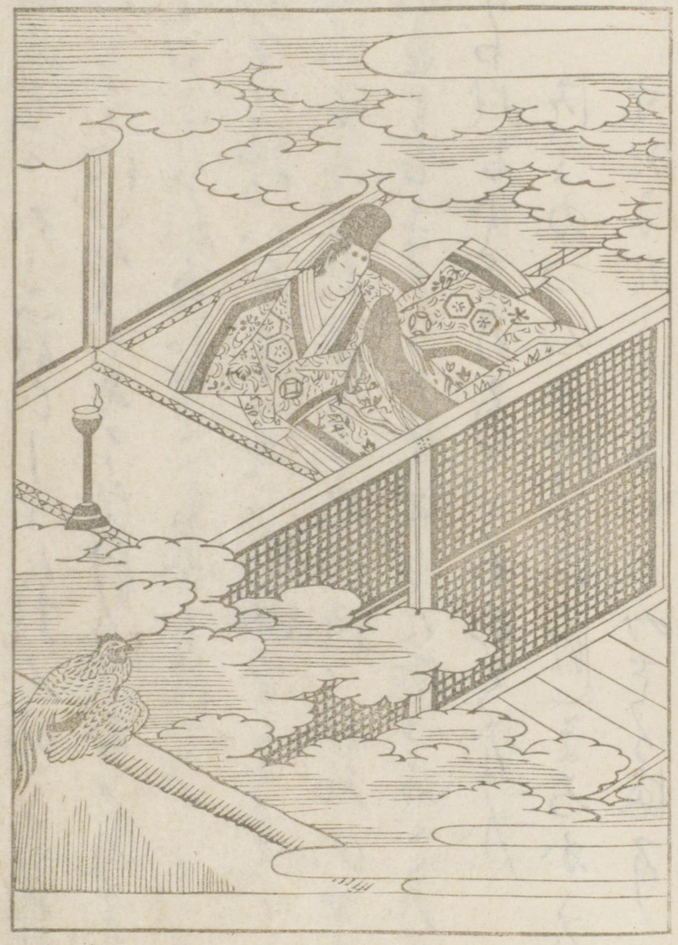
おもゝけす乃ゝ此とゝ見えけゝ
これ女以とひさしくあわてね世しかひて
まやかりけ世いひをこせる所
今ハとてわけうゝくを乃る祢をゝ小
人儀ん有しはゝきれもゝ那
返し
を寸遊くをうふとたゝきく物なら也
おもひ分わとハ志里もしあまし
みくあわしらわれ小いひかりして男

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-030
国立国会図書館

和するんに思ふ心のうたがひて
ありしよりは物うかりしを
丑しし
なかぞ有ふらぬ雲の何ともなく
男乃ちかなくもなりにしかり
とはいひはしと我のかゝるゝなりて有
は神うとくかわにけり
苦しかりくたえてはなかなをやを
は神ありしむ如のもとより

うきなから人をはえ志もをしき様に
かたうらみ法に相そ恋しを
にいん里はれたさきはよといひておとこ
あひしそはいひとつをかはしまれ
物のなかきてこえしとう思ふ
とはいひは神さうの歌いりて寄りいる
志へけりさに法ことゝもなと以ひて
秋の歌乃ちよ我日とらになすらへて
やちよしねはやあくときのあらん

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-031
国立国会図書館



返し

あきはよのちよ故一夜に限せわかも
こゝれ乃こ里てとわやなれなむ
いまゝへよわもあはれ有てなん
かよひは歟

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-032
国立国会図書館

着ゐなかわゝ雖ひしれ人のことも外
乃もとにいそゝあうひける故おとゝ明りて
なわふれれたおやこも女もはちりしてて
何ゝ所におとこそこ乃女をこうえめ也
思ふ女そこ此男をとゝ思ひ侍ゝおやのあり
ひきともきりてなせあわれ成さそこ乃と
なわれおやこ乃もとらわかくなん
侍ゝゐつの外侍ゝにけしまろかさけ
寸法よりしあいもみちり海有

ゑし
くらへこ志ふわ見けりもかゝにきぬ
き見ならせしてゝ道のあくへ家
ふといひくてつ外有おいのこそこ
あひ有ゝわ

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-033
国立国会図書館

けて心しこゝ何あるかとに女おやなくた
よわ明くなるまゝにいふひ
明くそあらんなハとてかうち乃くにた
かやすのこゝわりいきゝふ所いてき
にゝわさわゝれとこゝもとも女あしと思
へ家しきもなくていうしやわけは
男こと心がわてかなるやあらせとおもひ
うこかひてをせさいのなかりかく神
のそかうちへいぬるかかにて見えそこも

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-034
国立国会図書館

女いせようにはうしにうちふかせて
風あれハおきつしらなみたゝ山
梅宮まやきゝかはとわこゆらん
とうしに海城きてゝ夜わ明くかなし此
おもひてゝうちへもいてゝはなわすりけわ

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-035
国立国会図書館

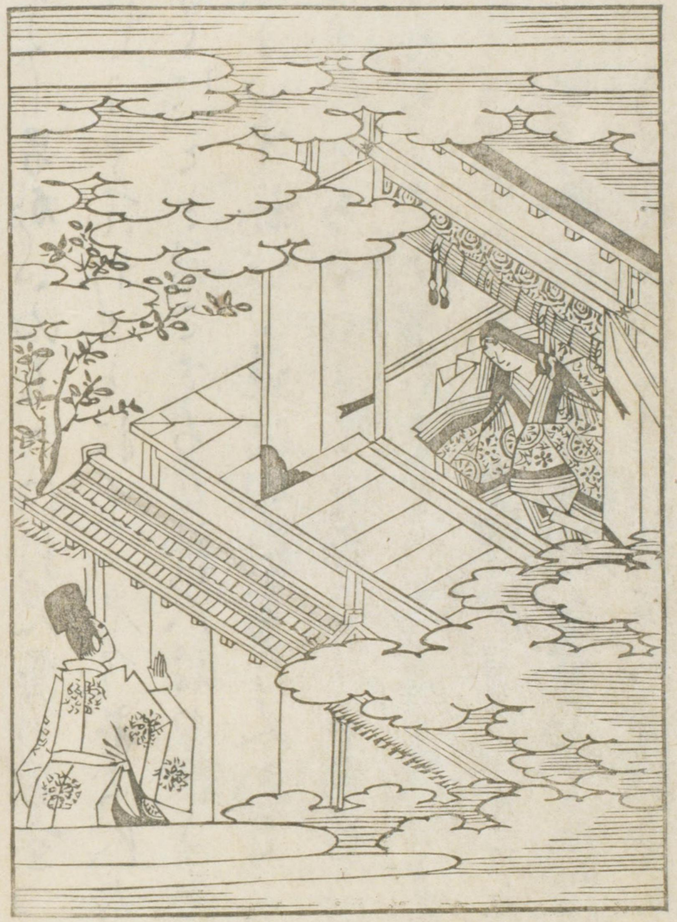
海遠くかのたかやをにさてこ遠ハはし
めこうこうろ有りをもつくわれ飛いまを
うちと宗てくはらい井りひとわてけ
こはうつた物有りもわれるを見てんう
かわていかれなわよをわかわれハらお
女やたゆ乃かた我見やわて
きゑゝあさわみはくをくらん伊勢山
くもふかくしう雨はふるとも
聖いひてみいるはよから宗してやまと

日とこんと伊人里よろこひてまはす有
ひくくをぬ遠を
君こむと以ひし聖ことり寸をぬ共
たゞまぬものこひはく当ふ所
聖以ひ以飛とおとこは下頃なわにかわ

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-036
国立国会図書館

せうし男がこゝゐなりにけれ男をつか
匿しよとてわりをおしまれて遣よにける
まくにこと勢こさわけ稱へはわひさわけ
海よいや祢むこ絵にいひ者る人ふこよひ
何りんとちおわさりけ海ヲしこ乃男きた
里ゆわこ乃とあけをまへやさて記けをせ
何をてうさ我なんよ見そいさしまわけ海
あら玉の年乃ことせをすちまひて
さくこよひこうにみすくる頃を

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-037
国立国会図書館



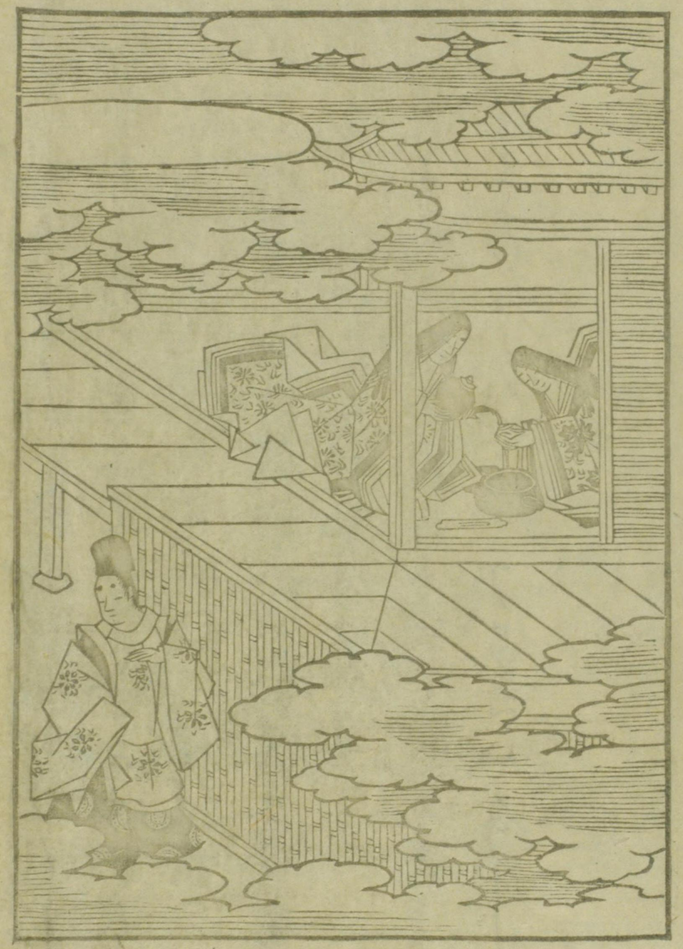
といひいてしたゆれれた
あはさらまゆゑつきゆゑとしをへて
わのせしのことうなりし見せよ
とりひていなんとしれ様女
阿川さらひれやひかひとせるしらわ
こゝろハきゝてよわすし物を
といひけれとおとこかつかにかり女以ゆゑ
かなしくてしまふもてをひゆけと
えをひけりて志水のあり所ありしに

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-038
国立国会図書館

ゆわうこなわゆるいんなおよひ乃ちして
まきつけ人所
あひおもんてうきぬる人我とくめ
わゝ男をいはそきてんてぬめ所
とかきてうこゝり以たつゝふなわよゆり
着おとこ何わゆ里ありしともいはさわ
けるをんふのされかふわゆるゝもとに
以ひ居りゆ事
秋乃野よさゝ里ゆ志あさの袖よわも

ありてぬ所よ者ひちまゆわゆ事
いろこ所こなゆ女ゝへ
見るめな紀我男我うゝと志ゝ祢えや
かきふてゝ何まゝ乃あしたゆ見ゝる
せよし男王衆わゝわなわゆ所女をえゝ寸
なわゆ事こゝゝわひゝわゆる人の為に
おもわしを袖にゝ所中乃さゝりくゝ那
もろこし女乃よわ志ゆわゝり
着おとこ女乃もとにひと夜いきてみもい

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-039
国立国会図書館



かれなわ不ルに神ハ女此てあら姫所有
ぬき寸我うちや皇てた羅ひのかけよ見え
ル數をミつから
王神ゆゑ物思ふ人ゑまるも何らし
とおもへハ身乃志たよもありあわ
此よむをこさ皇ゆゑおとこさもきて
ミあくちよ家や見ゆらむかハつさん
水乃しさにてもろこ志ふなく

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-040
国立国会図書館

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-041
国立国会図書館

當おやこえつゝなわれる女のもとに
あふ事ハたゞ海乃をりわなもわして
つゝきゐのなりくみゆらん
せうし宮法うち有して御こゝろの法
か祢のまへをわかわまなりなりの乃なる
有かおもひれんよしやくきえよ明
らんさとのこむといふおとこ
法みもふよ人をうけへハわれしくき
をのかうへ有うおふといふなり

といふをねさむ女もありけり
せうし物いひけりぬにとしこ給あわて
以ましへの志法乃をたまおくわ遥志
むかし我いま有ふれよしもの那
此いへわれ我をなると我思え寸やきけ世
せうし男つ乃くに世いる法こわわよかよ
ひれ數女ら我さひい世を名ハこしに
おもへ流れしおなれハおとこ
あしへらわら我くる志門のい遥ふ

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-042
国立国会図書館

きゝにこゝ詞をおもひ下にゝ明

あし

こもわ江ハ思ふこゝろをいそかは
女さねさ侍さしてし流へ家
井明り人流ことにてハよしや何し居
せりしおとこ流きなりけれ人流もとに
いへハえよいへ祢はむ道よさハかきて
心ろと流可なけくころの那
おもなくて伊人の明り面し

苦心にもあらてたえ流人のもとに
玉のをゝあれ我よりてむけんきハ
こえてのくちもあはんとう思ふ
せりしまれ生ぬるなめわせとひことし
ゆゑ如此もと有し
容せは見みねまてひへのたまりけら
さえむと人ハ何りおもは明くに
音おとこいろこ乃こなわ女にあつわ
きわ字し詞めたるやおもひけん

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-043
国立国会図書館

我なりて志たひもとくなかさゝ間の
ゆふかけ雨さぬ花よへ所わとも

返し

姫さわ志て世をひしはも我ひとゝして
あひ見るまでいとゝしとそ思ふ
せうし紀社ありつゝりゆきさ流よあわ
米をうくきあるつゝりよ見そ居りけ数
きゝ小よわ思ひならひぬ世の中乃
人をこゝ社を居こひといふ事

返し

ならは祢ハ世の人ことりなふをかも
こひとへいふ也ひしを神志も
菩薩院乃見かとく申ハ見かとおりし
雨しけわうれこかとの所こゝかいこゝ
中寸いまうかわけわうのみこう世殖ひて
おほんはふわ乃釈う此宮の也なわ女里
もうおとこ所もふわ見んとて女車有り
あひ乃わていそゝ事ゆきわいまひさしう

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-044
国立国会図書館

伊勢物語　2冊　WA7-238　01-045
国立国会図書館

れていてたて下ほうをうち所よてやみ
ぬへ下りけるあひたり何めの乃しき深
いろこ清ミ深のいさゝ中いふ人こ所も物
ミ流有しら此車を女車と見てらわさて
とかくな海めくあひさりしらいさ流か
さ流をとわて女のくるまに以きさりける
後くる海なわ者る人こ乃ほたる乃ともれ
火まや見ゆらんともしれちなんする
とてのきるおとく乃よ見る

いてゝ以ふは夏わ所るへこともしれち
此しへぬるかとなくこ志をよけ
かのいさ流かへし
以とあはきなくうきこ世るとも宗ち
きゆる物ともわれハ志ら夏所
あ見のしふ此いろこ乃ミ深うこにて名
れうわわ事
以たる見しさかふりおほちなわみこ
乃かいなし

昔わかなおとこれしうそあらぬ女を
おもひけわさうし程けうおやかりてさる
もうけくとそこ居ぬ我ほかへをひ居らん
と寸ゆこう伊へまるをいやられそと乃こ
なれハ海と心いさおひなりけれとこ
せるいきおひあしをんなもいやし
けれそれまふちうらうしさうあひた可
おもひそいやまき里に下ゆふれりにお
居こ乃女をこひうけおとこちの海を明り

せとも少くむかよしあしのそいそこ明ぬ
おとこ明くくよめ
いそこいなハ遠り別遠のかゝらん
ありしに海さけれふれりあしも
心よりそこえいわ可 常わおやあはて
に思わなをおもひてこういひしりいそ
かくしもあらしと思ふに志んしちに
こえいわ可けれハまとひて報をそけわ
れふ乃いわあひりわ小こえいまてみの

はの以ぬ乃ときりわにおんうらまして
以見いてゝわれるすゝのかの人ハさる
をけり物なりひをなんしれ所いまのお
きおまさ有しきおせや
むしゝ女りゝから姫ゝわきりをわハ
いゝ所しきおやこ此正法しきひとわ是
あてなり男もより事わいゝ所しお男もた
りしたれの法も里ようへ此見ぬをあ
羅ひてゝつからたわ是わ心さしハ以さし

けはとさらい所しきれさもなりたさ里
ハ稱ハうへ乃おぬのうたをたわやわて宗
里をせかさも明くそゝなれは明おれわ
こまをかのあてなりおとくきてゝ以ゝ心
くるしかわれたいゝおよらなりろう
ゆう深うへ乃きぬを見いてゝ所るとて
むらさ見のいふこき時ハ見もたまふ
野なにくさ木うかのれゆわれ所
せさし野乃心明る所

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-047
国立国会図書館

昔おとこいはこ乃こゝやしほく女伝
あひいつわ以わさ神とにくゝえたあらさ
里以わ志えくいさ以まとふを以とう志
詞めたくさわとでいりてハ多えあるよし
りり以里粮ハたえ何らさわ以歌中なわ
以神ハ易法の三日以わ市ゑ歌ことありて
え伊りてかくなるん
いそこ志あやこにいはるかりら志を
ありかよひちやいまそあるらん

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-048
国立国会図書館

そのうたかりしさ可よめるかわらわ
せよりやのみこと申れみこおりし
まし者わらわ見こぬ我にほしめして
いせよりこゝめくこつかり給ひ人家を人
な海めさて所われる我王神乃ことおもひ
ん歌を又人おこつけて見屋るおとゝき
寸乃りたをかゝ業を
郭公ふかなくたとの所まゝあまを
なをうと海まぬおもふ乃から

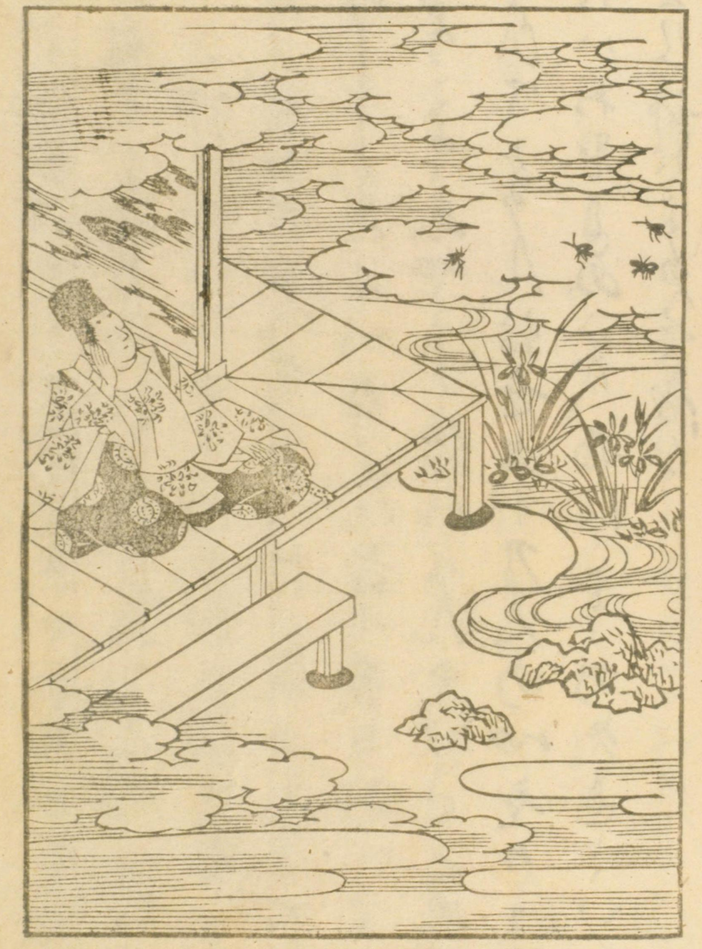
此以てわらわ女にしおをとわて
又のこたつして乃ゝおさへんさうなく
以ほわあまるとうと下神ぬまハ
時々さ月ありなんかわれ海おとゝ返し
いわわれほきてのたおさへなをを乃せ
わりけむさとにこ忘しさえ寸を
せよりおかるへり人ありむまれたなせ
けせんとそよひてうとき人よしあらさ里
ん神いふとうしさ、月さゝをそ女の

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-049
国立国会図書館

はううくの法ハんとはあまし乃おやこ
たよ見そ申おこしよゆひつれさは
いそこ遊く君のこゝめにとぬきはきハ
わ神さへも聞くなわぬ家の那
こ法哥ハあ故のあかすおもし詠ハれた
んとめそらまをはらよあちりひて
せよし男あわハわ人展む頃め乃かしはく
いそこ乃おとこよものいそんとおもひ
家わうち以てむこやかたくやなりハ世

とのなこそりなわてしぬへたと家にか
くこうおもひ志がといひもろをおやあく
法家てなく〳〵法ハあわハ神ハまとひ
きたわハれと志有しはきハつれ〳〵也
志も里をわ家わときあこ所月の法こもわ
以ゆゑ世法よこ詠をひよよぬハあうひを里
て親あれて居こすしし　き風あたハわ
ほたうたかくとひあうこれおとこ見ぬ
せわて

伊勢物語　2冊　WA7-238　01-050
国立国会図書館



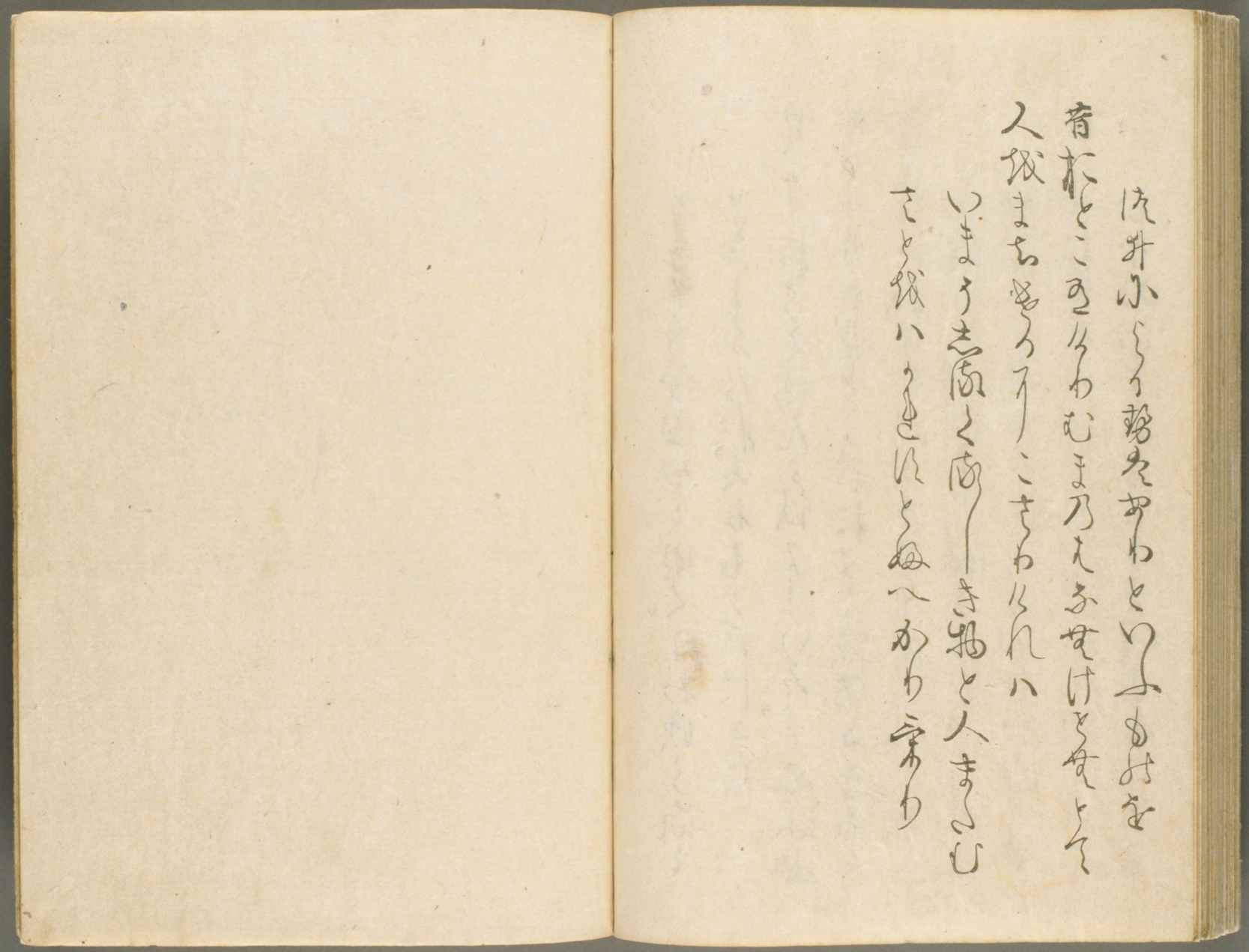
田夏かき流雲の上まほいぬ色くさ
秋の野にて光ふりてつけこせ
人神かゝる記憶れはくらしたかの世れハ
うれことゝなくもれうかしな

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-051
国立国会図書館

世の男いやうるはしきゆもあわ雪わか
た時さらはあひおもひ人数を人のくにへ
いさけり後いやあるゆ神とおもひて和かを
可りかわ月日へてをこせる後ふゝにあき
南しくえる以めん勢を月日のへ可
あるこゆ忘やし行ひれんやいさく思ひ
まひてなん付世中乃人の心をめかな
神ハわををぬへ家物にこうあやをといん
里に神にうゑを屋る

めるともおもわし明くにわ頃ら後に
ときしふれたおもかけに行
世のしおとく祢んこ後可いそと忘ふ女
ありかりさ是とこれおとこ後あるなわと
きてて後神なき乃こまき里ほゝ以へ後
おほぬさのひくて阿まるになわぬ共
おもへとえこうた乃海ゆわけを
返しおやこ
おかぬ市とゑにこうこてをあれても

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-052
国立国会図書館



伊勢物語　2冊　WA7-238　01-053

国立国会図書館

国立国会図書館

伊勢物語 2冊 WA7-238 01-054

国立国会図書館

伊勢物語　2冊　WA7-238　01-055
国立国会図書館